

勇気

グルマリー・チッドヴィラーサーナンダの選んだ美德 バースデー・ブリスによせて

シッダ・ヨーガ 瞑想 ティーチャー エリック・ベイリンによる解説

ダイリヤはサンスクリット語で“勇気”を表すいくつかの用語の中の一つです。ダイリヤには多様な意味合いが含まれており、その中には、不変、英知、平静、恐れのないこと、などがあります。その一つ一つが、サーダナーに関連する勇気の様々な側面を示唆しています。

勇気は、不変である大いなる真実の理解に根差しています。

勇気は、至高なる大いなる自己の英知から生まれます。

勇気は、平静さの成果です。

勇気は、現実と想像上の危険や恐れとを見分け、私たちに内側にある力の宝庫へと注意を向けるよう、励まします。

フランス語の *coeur*、すなわち“心”を語源とする英語の *courage*、“勇気”は、私たちの理解にもう一つの次元を加えます。時に私たちはお互いに言います。「元気を出して」。それは必要とされる事柄に向き合う生来の強さを引き出しなさい、という意味です。サーダナーにおいて、“心”は私たちの存在の中心としてさらに深い意味を持ちます。大いなる心は、内なる大いなる自己の別の名です。いわば、勇気は大いなる心から湧き出るのはです。

グルマリーは、著書『*Courage and Contentment* 勇気と満足』の中で、この靈感にあふれた資質を、次のように定義しています。

勇気とは、それぞれの瞬間で要求される事柄に、自分はそれに対応できると自覚しながら、完全な喜びをもって立ち向かうことです。勇気とは、あなたの中には生来の力があり、その本質は外側の状況によって枯れるようなことは決してないと確信を持つことです。¹

勇気とは、私たちはしばしば非常にきつい挑戦という意味で捉えますが、実際は一瞬一瞬の要求に応じることであり、グルマリーは教えます。言い換えれば、私たちは継続した形で、なじみある分野で、そして日々の瞬間で——家庭で、仕事で、あるいは精神修行の孤独の中で——勇気を引き出すべきだということです。

勇気は、制限された考えを転換し、大いなる心の拡張した境地へと移行する繊細な内なる行動を引き起こします。勇気を通して、私たちは、「私には価値が無い。私には能力がない」などといった自分の魂をむしばむ考えを捨て、大いなる心が、「私は、私としてのそれである」と言うことを認めます。勇気は、プライドの限界から離れ、謙虚さをもって行動するように私たちを励まします。勇気は、瞑想の静けさの中で、私たちを引き止めるものから自分自身を解き放ち、自分のありのままの姿でいて心地よくなるように、私たちを強く促します。

¹ Gurumayi Chidvilasananda, *Courage and Contentment: A Collection of Talks on Spiritual Life* (South Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1999) p. 7.

大いなる心の強さと広がりにより心を開く瞬間、勇気が現われます。そのような瞬間は、私達を完全に元気にします。私達は、強さだけではなく喜びと熱意も体験します。それらは大いなる心の資質でもあるのです。

勇気を持って行動することによって、私達は内なる大いなる自己への信頼を表現していることは明らかです。そのような信頼は長い期間に渡るため、修行と、普段のマインドの覆いがはずされた時にやって来る啓示的な体験を思い出すことによって、揺るぎないものとなります。そのような瞬間に、私達は自分自身の内なる神聖さを認識します。自分自身の努力と尽きることのない恩恵という贈り物を通して、私達は、大いなる心は無尽蔵の源泉であり、たとえどのような状況が外側で起きようと、私達を支えてくれると信頼することを学びます。

『クラールナヴァ・タントラ』は、その過程をこのように説明しています。

असाध्यसाधकं शूरमुत्साहबलसंयुतम् ।

अनुकूलं क्रियायुक्तमप्रमत्तं विचक्षणम् ॥ १३.२८॥

*asādhyaśādhakam śūram utsāhabala-samyutam,
anukūlam kriyāyuktam apramattam vicakṣaṇam.*

彼は、サーダナーと熱意の力を通して不可能を可能にする賢い者である。

彼は、厳格な修行と適切な仕事に従事することを怠らない。彼は勇気のある者である。²

² *Kulārṇava Tantra* 13.28. English translation by Swami Muktananda, *The Perfect Relationship* (South Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1999), p. 38.

賢く勇気ある探究者は、サーダナーに確立し、熱意——まさに神聖な靈感をもって精神修行を促進させます。不変、英知、平静、そして恐れが無さをもって、探究者は、この人間の姿の中に神が住んでいるという理解を揺るぎないものとする方向に、安定した成長を遂げていきます。

シッダ・ヨーガの教えは、私たちがそのような探究者であるための力を与え、“勇気づけ”をしています。私たちは、どのような時でも元気を出して、自信と喜びをもって状況に応じることを選べます。どのような困難に出会ったときにも、正しいこと、必要なことを成す能力があります。なぜなら、私たちの中には人生で起こるどんなことにも対処できる力があるからです。一瞬一瞬、今まさにこの瞬間、私たちは最も強く、最も喜びにあふれ、そして最も勇気ある自分であることができるのです。

勇気についての確言

私は、内側にある力の宝庫から勇気を引き出します。